

『現代の国語』言語活動ルーブリック評価例

教材名 境目
著者 川上弘美

1. 学習指導の目標

| | | |
|--------------|------------|---|
| 思考力・判断力・表現力等 | A話すこと・聞くこと | ア)目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。 |
|--------------|------------|---|

パフォーマンス課題

- ①川上弘美「境目」を読み、「～の境目」ということばで表現できる過去の経験や出来事を書き出す。
- ②数人のグループで書き出した内容を紹介し合い、自分の考えを説明する。
- ③グループでの話し合いをふまえて、「境目」をめぐる自分の体験をクラスで発表する。

2. ルーブリック表

| 評価の観点 | |
|-----------|--|
| 評価のレベル | |
| A 十分満足できる | 様々な観点から出たグループの意見を整理して踏まえ、自分の具体的な経験や出来事を、「境目」という語で的確に捉えて表現することができる。 |
| B 満足できる | 様々な観点から出たグループの意見を整理して踏まえ、自分の具体的な経験や出来事を、「境目」という語で捉えて表現することができる。 |
| C 努力を要する | 様々な観点から出たグループの意見を踏まえられているが、自分の具体的な経験や出来事を、「境目」という語で捉えて表現することはできていない。 |

【評価基準の考え方】

様々な観点から情報を収集、整理したことが踏まえられていること、自分の具体的な経験や出来事を「境目」という語で捉えることができることを重視している。